

芸術協会創立50周年 来賓招き記念式典

— 半世紀にわたり県芸術文化を牽引 —



早坂 理事長
百周年へ更なる発展を



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 大場 尚 文

昭和 40 年 1 月創刊された「はなやま」の題号は、芸術協会の創設が、昭和 39 年 5 月 9 日に宮城県花山村（現栗原市花山）の湖畔亭で開かれた会合で決まったことにちなんで付けられました。

宮城県芸術協会は、5月13日、仙台市青葉区のホテルメトロポリタン仙台で、創立50周年記念式典を開催した。

式典で早坂貞彦理事長は「東日本震災後、芸術の持つ力が広く認識されるようになってきた。創設時の『在野に徹し、奉仕の心で』の精神にもとづき、百周年に向けて活動をさらに発展させたい」と挨拶した。

次いで、村井嘉浩宮城県知事（若生正博副知事代読）、奥山恵美子仙台市長、加藤伊佐雄河北新報社常務取締役、鈴木隆一宮城県文化振興財団理事長より祝辞があり、来賓が紹介された。

式典では、名誉会員13人、創立以来の会員25人に早坂理事長から感謝状が贈られ、長年にわたる功績が讃えられた。

感謝状が授与された会員を代表し、小山喜三郎前理事長が「創立50周年記念に際して、感謝状を頂き有難うございました。芸術協会の更なる発展を祈ります」と感謝を述べた。

引き続き、会場を移して50周年記念祝賀会が催された。オープニングは邦楽部会員による長

唄「松の緑」の演奏で、会場は華やかな雰囲気包まれた。式典に参加した約270人の会員は、来賓と共に、50年の歴史を誇りとして、節目を祝った。

式典に先立ち、東京国立博物館の銭谷眞美館長による「文化芸術の力と東北」と題した記念講演があり、好評であった。

が見直されている。

＝記念講演＝ 「文化芸術の力と東北」



東京国立博物館長
銭谷眞美 氏

文化力を育てるには、行政の支援が大切である。創作する人、それを鑑賞する人の両者を繋ぐ美術館の整備や、芸術に多くの人が参加できるよう裾野を広げ、後継者を育てることも文化行政の役割である。

技と心、感じる力、西洋文化の中に和をどのように取り入れるか、教育上大切な要素だ。どんな芸術が国内にあるか、文化力がますます重視される。

近年は、世界各国で芸能や伝承をはじめとする無形文化遺産

の地域に抜きん出て多い。これらの日本文化を考える上で非常に大きな財産である。

特に、東日本震災後は盆踊りや季節の行事などが見直され、日本の伝統文化を伝えていく上で重要な要素となっている。

有形文化財は明治時代になり保存活動が始まった。現在900の国宝があり、無形文化財は1000件、民俗文化財はおよそ200件ある。東北地方には53件の無形重要民俗文化財があり、他

新理事、決算など承認 平成26年度 定時総会

平成26年度の公益社団法人宮城県芸術協会定時総会は、5月31日午後2時40分から仙台市青葉区の仙台市福祉プラザふれあいホールで開かれた。

開会に先立ち、会員総数2126人、出席者数124人、委任状提出者数1212人により、大会が成立することを司会の佐々木光一執行理事が確認。議長に大崎健二洋楽部副部長、議事録署名人に早坂貞彦理事長と高橋威夫執行理事を選出した。



新しい法人旗の下で開かれた定時総会

根幹は、在野の精神による民間の芸術文化振興への奉仕であった。現在、全国でも稀にみる団体となっている」などと挨拶を述べた。

報告事項として、執行部より平成26年度事業計画及び収支予算について、芸術創立50周年記念行事について、それぞれ議案書にもとづき説明が行われた。審議事項では、平成25年度事業報告及び収支決算(案)について、会計監査報告を含めて承認。理事の選任については、今回は改選期にあたることから、執

新理事長に大場尚文氏

平成26年度定時総会終了後に開かれた理事会では、規程にもとづく投票により、理事長に大場尚文氏が選任されたほか、5名の執行理事が選出された。

総会及び理事会で選任された新役員は次のとおり(敬称略)。太字は新理事・カッコは担当。

- 【理事長】大場尚文
- 【執行理事】栗石隆子(総括)、池田僊雲・佐々木光一(財務)、中塚仁・渡部勝彦(事業)
- 【理事】大内欽二・岡崎宗豊・後藤大峰・牛島富美二・桜井忠彦・佐藤淳一・清水道玄・菅原宗初・西村一紗・橋本昌彦・宮澤寒山

記念講演に代わり 大邱交流事業を報告

定時総会に先立ち、例年の記念講演に代わって、大邱との交流事業「希望の灯火」の報告会が行われた。

これは芸術6部門によるコラボ作品で、昨年9月6日、大邱文化芸術会館で上演して好評を得た模様を、大場尚文執行理事がDVDを映しながら報告した。

このたびの役員改選で理事長に選出され就任致しましたので、皆様にご挨拶を申し上げます。歴代の会長、理事長が芸術協の発展に尽力を傾注された歴史と実績を理事長として引き継いだ責任の重みを痛感しております。顧みますと、黒川初代会長は「はなやま」創刊号で「宮城県芸術協会の精神は、われわれの愛する郷土、宮城県の芸術文化を興隆させる上、光栄ある奉仕者になることにある」と述べています。50周年を迎えた現在、改めてこの言葉を噛みしめ、明日への栄光と限りなき前進を信じ、芸術協会のさらなる発展のため精一杯務めて参ります。芸術協会は12分野の芸術家が個人会員となっている全国でも稀な団体です。昨年、韓国・大

気高く強く直向きに



＝就任のあいさつ＝
理事長 大場 尚文

邱からの震災復興支援に対する返礼として、6部門のコラボレーションによる大規模な舞台公演を成功させ、内外から大きな賞賛を頂きました。こうした分野を超えた芸術の総合力を結集した取り組みは、宮城県芸術協会ならではのものです。今後進むべき事業の方向性を示しているものと意を強くしております。

芸術は創り出す人と鑑賞する人の行為が相伴って成り立ち、そのことによって初めて人心の寄り添いが生ずると考えます。私たちは光栄ある奉仕者として「気高く強く直向きに」を源泉に洋々と流れ、魅力的・創造的活動の展開によって郷土を潤し続ける水脈でありたいものです。今後とも、皆様の一層のご支援・鞭撻をお願い申し上げます。

文芸部（俳句部門） 高野ムツオ氏が蛇笏賞



当協会の文芸部運営委員で宮城県俳句協会会長の高野ムツオさん（67）が、東日本大震災を詠んだ俳句を含む第五句集の「萬の翹」で、第48回蛇笏賞を受賞した。戦後生まれで俳句界最高賞とされる蛇笏賞受賞は初めて。この句集では、2月から3月にかけて第65回読売文学賞、第6回小野市（兵庫県）詩歌文学賞も受賞しており、「三冠獲得」と話題になっている。

高野さんは宮城県岩ヶ崎町（現栗原市）出身。国学院大文学部を卒業後、宮城県内の中学校で教師を務めた。この間、故佐藤鬼房氏主宰の「小熊座」に入会し、平成14年1月の鬼房氏死去の後、小熊座を主宰。第24回海程賞、第44回現代俳句協会賞、宮城県芸術選奨（平成6年）などを受賞している。

小山・早坂両氏が名誉会員

退任の理事は全員参事に

5月31日開催の第2回理事会では、名誉会員と参事の推薦に関する議案が審議された。

法人運営規程第7条第1項の

規定にもとづき、今回理事を退いた小山喜三郎元理事長と早坂貞彦前理事長（共に絵画部）が理事会から推薦を受け、名誉会員に就任した。また、第8条第2項の規定にもとづき、これま

で役員として芸協の運営に貢献した次の方々が理事会から推薦を受け参事に就任した（敬称略）。

杜の都大茶会

お茶とお菓子でおもてなし

金沢、松江と並び日本三大茶会とも言われる当協会と河北新報社主催の第18回杜の都大茶会

は、5月24（土）、25日（日）の二日間、仙台市青葉区の勾当台公園で開かれた。

高橋通子（工芸部）、高橋威仙・鎌田宗州（茶道部）、田村政晴（書道部）、菅原関也（文芸部）、跡部高染（絵画部）、田家千恵子・内木邦子（洋楽部）、朴澤一堂（華道部）。

雨天にめげず熱心に

絵画部スケッチ研修会

絵画部によるスケッチ研修会が5月17、18日の1泊2日の日程で、岩手県の岩手山と秋田県の角館などをスケッチポイントとして行われた。

参加者は32名。一日目は曇り、二日目は雨と恵まれない天候ではあったが、参加者は思い思いにスケッチに熱心に取り組み、充実した研修会となった。主な日程は次のとおり。

- 一日目（岩手県）御所湖湖畔（秋田県）田沢湖畔、石上集落、駒ヶ岳グラウンドホテル泊。
- 二日目（秋田県）角館・武家屋敷の各所でスケッチ。

茶会には、当協会茶道部の13流派が二日に分かれて参加。自然の風物に接しながら抹茶と煎茶のお点前を披露し、お茶とお菓子で来場者をもてなした。幸い両日ともに爽やかな風が吹く好天に恵まれたこともあって茶道ファンが途切れることなく、お目当ての流派を巡って野点を楽しんだ。二日間の来場者は9185人にのぼり、過去最高だった一昨年を上回った。

東北・北海道芸文協で情報交換

平成26年度の東北・北海道芸術文化団体協議会総会が6月23日、山形市の山形グランドホテルを会場に開催された。本協会を含む東北6、北海道

1の文化団体による協議会は年一度の総会を開催。今年度から2年間は山形が幹事地区を担当している。当日の総会では、各団体間で活動報告等の情報交換が行われた。

なお、総会当日から6月30日まで交流写真展が開催され、当協会写真部から10点の作品が出品された。

新入会員

〔洋楽部〕

- ▽小澤牧子（仙台市青葉区）
- ▽高橋正典（塩釜市）
- ▽高山圭子（仙台市太白区）
- ▽平川敬子（仙台市青葉区）



山形市で開かれた芸文協総会



過去最高の来場者で賑わった大茶会

平成 25 年度 事業 報告

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

事業種別	事業名	期日	会場	入場者数	作品点数・出演者等
展示関係事業	書道展	9/20～9/25	せんだいメディアテーク5・6F	3,403名	315点
	工芸展	9/20～9/25	せんだいメディアテーク5F	1,419名	80点
	絵画展(会員展)	9/27～10/2	せんだいメディアテーク5・6F	6,595名	日本画70点・洋画331点
	絵画展(公募の部)	9/27～10/2	せんだいメディアテーク5F	3,300名	151点
	第50回記念特別企画美術展	10/4～10/9	せんだいメディアテーク6F	2,678名	招待作家作品87点
	彫刻展・彫刻公募展	10/4～10/9	せんだいメディアテーク6F	2,678名	会員24点・招待1点・公募5点
	写真展・写真公募展	10/4～10/9	せんだいメディアテーク5F	2,985名	会員91点 公募応募300点・入選88点
	華道展	10/4～10/9	せんだいメディアテーク5F	2,709名	前期・後期各32点
演奏関係事業	長唄演奏会	10/20	仙台市民会館	223名	34名
	音楽会	10/31	日立システムズホール仙台	793名	45名
文芸関係事業	文学散歩	9/25・26	山形(酒田・鶴岡)方面	-	参加者37名
	「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	-	-	800部発行
	文芸祭	10/26	東京エレクトロンホール宮城	67名	-
茶会	茶会	10/13・20・27	輪王寺	4,027名	-
巡回展事業	絵画・書道展松島展	10/17～10/23	松島町文化観光交流館	650名	日本画9・洋画29・書37
	工芸展大和展	11/9～11/15	大和町まほろばホール	379名	74点
	写真展大和展	11/9～11/15	大和町まほろばホール	379名	会員91点・公募21点

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

事業種別	事業名	期日	会場	入場者数	作品点数・出演者等
鑑賞機会提供事業	第50回芸術祭受賞者作品展	1/10～1/19	LBギャラリー	689名	27点
	宮城県芸術協会絵画部門 現審査委員作品にみる「個の展開」	2/4～3/16	カメイ美術館	1,501名	29点
	ミュージックフェスタ2013inくりはら	2/2	栗原市文化会館	550名	-
伝統文化体験事業	第17回杜の都大茶会	5/25・26	勾当台公園	8,928名	-
人材育成事業	県民との美術交流・ギャラリートーク	9/28	せんだいメディアテーク5F・6F	45名	講師：佐々木 俊弘氏・庄子 明宏氏
	第34回音楽コンクール (ピアノ部門)	予選2/9	仙台市戦災復興記念館	68名	初級26・中級29・上級：13
		本選3/21	仙台市戦災復興記念館	27名	初級：10・中級12・上級5
	書道部による県内小中学校への講師派遣事業	通年	県内小中学校8校	-	書道部会員6名で対応
後援事業	「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」等に賞状及び賞金を提供するなど、今年度に本協会に申請された103件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付による賞状や賞品等の提供。				

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

事業種別	事業名	期日	会場	入場者数	作品点数・出演者等
東北・北海道芸術文化 団体協議会交流事業	東北・北海道交流 書道・デザイン展	6/12～6/16	秋田県立美術館	322名	87点(内本協会・書道：7点)
仙台・大邱国際 芸術交流事業	仙台・大邱国際芸術交流公演 ・大邱公演 ・仙台公演	9/6	大邱文化芸術会館	500名	本協会訪問団15名
		9/18	電力ホール	1,106名	2公演・昼(582名)・夜(524名)

(4) その他の事業(相互扶助等事業)について

事業種別	事業名	期日	会場	入場者数	備考
会員研修	講演会 講師：大澤 隆夫氏	5/18	仙台市福祉プラザ	108名	「公益法人の新しい役割-仙台フィルの事例から-」
	絵画部スケッチ研修会	5/25・26	山形県庄内方面	40名	
	工芸部研修会 講師：大和田 宗嬌氏	7/21	芸術協会 会議室	23名	「茶道の道具 その鑑賞のしかた・愉しみかた」
	書道部研修会 講師：表 立雲氏	9/22	東京エレクトロンホール宮城	182名	「蘭亭叙について」
	第40回研修旅行	11/25～11/29	カンボジア・シエムリアップ	13名	
発行	機関紙「はなやま」発行	年間4回発行：196号(4/30)・197号(7/18)・198号(11/15)・199号(1/31) 各号2,550部			
	平成25年「会員名簿」発行	6/30	公益社団法人移行に伴う発行2,400部		
震災復興支援	震災復興支援	【書道部】被災地区校名板・校歌額寄贈事業：県内4校に対し、書道部会員4名が校歌額、校名板の揮毫を行った。			
		【洋楽部】被災地に音楽を届けようプロジェクト：洋楽部会員により震災支援に関するイベントに赴き演奏を行った。(2回・対応会員総計7名)			

平成 26 年度 事業計画

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

本協会を中心として、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団の7団体共催で、本年度で第51回目となる宮城県芸術祭を開催する。期間は9月26日（金）の開会式（会場：せんだいメディアテーク）から11月27日（木）の閉会式（会場：ホテルメトロポリタン仙台）の期間。各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期 日	会 場
展示関係事業	絵画展（公募の部）	9月26日～10月1日	せんだいメディアテーク 6F
	彫刻展・彫刻公募展	9月26日～10月1日	せんだいメディアテーク 6F
	華道展	9月26日～10月1日	せんだいメディアテーク 5F
	写真展・写真公募展	9月26日～10月1日	せんだいメディアテーク 5F
	書道展	10月3日～10月8日	せんだいメディアテーク 5F・6F
	工芸展	10月3日～10月8日	せんだいメディアテーク 5F
	絵画展（会員展）	10月10日～10月15日	せんだいメディアテーク 5F・6F
	絵画展（50周年企画展）	10月10日～10月15日	せんだいメディアテーク 5F
演奏関係事業	長唄演奏会	10月19日	仙台市民会館
	音楽会	11月8日	日立システムズホール仙台
文芸関係事業	文学散歩	9月30日～10月1日	新潟方面
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日	850部発行
	文芸祭	10月25日	東京エレクトロンホール宮城
茶 会	茶会	10月12日・19日・26日	輪王寺
巡回展事業	工芸展柴田展	10月25日～10月30日	しばたの郷土館
	絵画・書道展東松島展	11月6日～11月10日	東松島コミュニティーセンター

※なお、上記作品展の会期内に10月4日（土）・5日（日）の2日間にわたり、創立50周年を記念して一般市民を対象に「芸術ふれあい広場パートⅣ」を開催し、芸術文化の普及啓発を図る。

※写真部では今年度より写真公募展と連動させながら市民対象の写真教室を実施する。

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

事業種別	事業名	期 日	会 場
鑑賞機会提供事業	第51回芸術祭受賞者展	12月19日～12月25日	東京エレクトロンホール宮城
	（カメイ美術館共催）第6回絵画作品展	1月下旬～3月上旬	カメイ美術館
	ミュージックフェスタ	未定	未定
伝統文化体験事業	第18回杜の都大茶会	5月24日・25日	勾当台公園
人材育成事業	県民との美術交流（ギャラリートーク）	10月11日	せんだいメディアテーク5F・6F
	書道部による県内小中学校への講師派遣事業	通年	県内小中学校
	第35回ピアノコンクール	予選：2月15日 本選：3月下旬	予選：仙台市戦災復興記念館 本選：未定
後援事業	本年も「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」等に賞状及び賞金を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、後援名義の承認、必要に応じた賞状や賞品等を提供する。（平成25年度承認実績：103件）		

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

事業種別	事業名	期 日	会 場
東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業	東北・北海道交流写真展	6月23日～6月30日	山形県芸文美術館第1ギャラリー
仙台・大邱国際芸術交流事業	（仙台・大邱国際芸術交流・宮城県文化振興財団共催）芸術協会創立50周年記念公演	11月1日	東京エレクトロンホール宮城

※韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会との交流事業を、本年は本協会の50周年記念事業の中に位置づけ、音楽を中心とした舞台演目により実施。また、本協会と同じく、創立50周年を迎える宮城県民会館（東京エレクトロンホール宮城）を会場とし、会館の管理団体である宮城県文化振興財団との共催事業としても位置づけて実施する。

(4) その他の事業（相互扶助等事業）について

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
会 員 研 修	講演会①講師：銭谷眞美東京国立博物館長	（創立50周年記念講演）5月13日	ホテルメトロポリタン仙台
	講演会②大邱公演報告会：大場尚文執行理事	（定時総会）5月31日	仙台市福祉プラザふれあいホール
	絵画部スケッチ研修会	5月17日・18日	秋田（角館・田沢湖）方面
	書道部研修会	10月5日	東京エレクトロンホール宮城
	第41回研修旅行	12月上旬	未定
発 行	機関誌「はなやま」発行	年4回発行	
	「会員名簿」発行	7月頃発行	
	「芸協50周年史」刊行	10月末頃発行	

【平成25年度決算】

【平成26年度予算】

科 目	当年度(a)	前年度(b)	増減(a-b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	3,000	4,010	△ 1,010
受取入金会金	1,760,000	1,480,000	280,000
受取会費	22,260,000	22,510,000	△ 250,000
正会員受取会費	22,000,000	22,230,000	△ 230,000
賛助会費受取会費	260,000	280,000	△ 20,000
事業収益	9,655,607	11,102,654	△ 1,447,047
参加費	7,102,100	9,124,640	△ 2,022,540
入場料	2,547,650	1,296,300	1,251,350
会員名簿広告料	0	670,000	△ 670,000
文芸年鑑売上高	5,857	11,714	△ 5,857
受取補助金等	600,000	600,000	0
受取民間助成金	600,000	600,000	0
受取負担金	13,198,250	12,797,800	400,450
共催負担金	5,035,000	5,035,000	0
会員負担金	8,163,250	7,762,800	400,450
受取寄付金	105,000	90,000	15,000
受取寄付金	75,000	70,000	5,000
受取寄付金振替額	30,000	20,000	10,000
雑収益	123,999	185,612	△ 61,613
受取利息	10,999	40,612	△ 29,613
雑収益	113,000	145,000	△ 32,000
経常収益計	47,705,856	48,770,076	△ 1,064,220
(2)経常費用			
事業費	41,323,190	32,356,837	8,966,353
給料手当	6,690,699	0	6,690,699
特別手当	1,789,108	0	1,789,108
臨時雇賃金	1,273,413	1,324,150	△ 50,737
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	973,847	0	973,847
旅費交通費	2,466,332	1,538,560	927,772
通信運搬費	1,608,041	1,657,527	△ 49,486
消耗品費	2,092,770	2,266,265	△ 173,495
印刷製本費	4,464,123	4,592,061	△ 127,938
貸借料	4,168,645	4,282,460	△ 113,815
保険料	14,970	26,200	△ 11,230
諸謝金	1,800,296	1,084,075	716,221
支払負担金	1,665,000	465,000	1,200,000
委託費	8,712,111	10,141,026	△ 1,428,915
会議費	504,746	581,006	△ 76,260
報償費	1,304,642	1,344,783	△ 40,141
広告宣伝費	382,200	452,550	△ 70,350
食料費	1,009,566	2,097,176	△ 1,087,610
支払手数料	139,713	151,317	△ 11,604
雑損失	176,680	262,340	△ 85,660
雑費	86,288	90,341	△ 4,053
管理費支出	10,102,518	22,551,407	△ 12,448,889
役員報酬	658,000	0	658,000
給料手当	2,228,429	10,334,893	△ 8,106,464
特別手当	424,127	2,414,980	△ 1,990,853
臨時雇賃金	87,721	0	87,721
退職給付費用	0	154,187	△ 154,187
福利厚生費	324,353	1,419,544	△ 1,095,191
会議費	516,587	624,129	△ 107,542
交際費	217,500	250,750	△ 33,250
旅費交通費	205,966	800,725	△ 594,759
通信運搬費	402,173	668,756	△ 266,583
減価償却費	454,764	520,058	△ 65,294
消耗品費	227,129	363,451	△ 136,322
修繕費	241,320	241,320	0
印刷製本費	941,840	872,578	69,262
光熱水料費	274,392	277,762	△ 3,370
貸借料	574,215	567,600	6,615
租税公課	270,600	577,500	△ 306,900
支払手数料	191,944	199,018	△ 7,074
管理諸費	639,030	577,500	61,530
委託費	10,000	535,000	△ 525,000
広告宣伝費	534,765	379,890	△ 154,875
雑費	677,663	771,766	△ 94,103
経常費用計	51,425,708	54,908,244	△ 3,482,536
当期経常増減額	△ 3,719,852	△ 6,138,168	2,418,316
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,719,852	△ 6,138,168	2,418,316
一般正味財産期首残高	56,594,959	62,733,127	△ 6,138,168
一般正味財産期末残高	52,875,107	56,594,959	△ 3,719,852
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	100,000	0	100,000
受取寄付金	100,000	0	100,000
一般正味財産への振替額	30,000	20,000	10,000
当期指定正味財産増減額	70,000	△ 20,000	90,000
指定正味財産期首残高	180,000	200,000	△ 20,000
指定正味財産期末残高	250,000	180,000	70,000
III 正味財産期末残高	53,125,107	56,774,959	△ 3,649,852

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
基本財産運用益	10,000	0	0		10,000
受取入金会金	760,000	0	760,000		1,520,000
受取会費	11,510,000	0	11,140,000		22,650,000
正会員受取会費	11,140,000	0	11,140,000		22,280,000
賛助会費受取会費	370,000	0	0		370,000
事業収益	7,821,000	7,155,000	0		14,976,000
参加費	4,721,000	6,355,000	0		11,076,000
入場料	3,060,000	0	0		3,060,000
会員名簿広告料	0	800,000	0		800,000
文芸年鑑売上高	40,000	0	0		40,000
受取補助金等	400,000	0	0		400,000
受取負担金	13,278,000	0	0		13,278,000
共催負担金	5,035,000	0			5,035,000
会員負担金	8,243,000	0			8,243,000
受取寄付金	100,000	0	0		100,000
雑収益	340,000	0	40,000		380,000
受取利息	0	0	40,000		40,000
雑収益	340,000	0	0		340,000
経常収益計	34,219,000	7,155,000	11,940,000		53,314,000
(2)経常費用					
事業費	37,596,440	11,888,900	0		49,485,340
給料手当	5,813,000	489,000			6,302,000
特別手当	877,000	74,000			951,000
臨時雇賃金	1,620,000	0			1,620,000
退職給付費用	22,440	1,900			24,340
福利厚生費	862,000	73,000			935,000
旅費交通費	1,293,000	461,000			1,754,000
通信運搬費	1,313,000	907,000			2,220,000
消耗品費	2,416,000	55,000			2,471,000
印刷製本費	3,609,000	2,432,000			6,041,000
貸借料	4,743,000	20,000			4,763,000
保険料	130,000	11,000			141,000
諸謝金	2,953,000	246,000			3,199,000
支払負担金	465,000	0			465,000
委託費	6,300,000	6,581,000			12,881,000
会議費	787,000	65,000			852,000
報償費	1,488,000	309,000			1,797,000
広告宣伝費	543,000	0			543,000
食料費	2,102,000	149,000			2,251,000
支払手数料	137,000	0			137,000
雑費	123,000	15,000			138,000
管理費	0	0	9,225,500		9,225,500
役員報酬			686,000		686,000
給料手当			1,922,000		1,922,000
賞与			289,000		289,000
臨時雇賃金			0		0
退職給付費用			7,500		7,500
福利厚生費			286,000		286,000
会議費			460,000		460,000
交際費			280,000		280,000
旅費交通費			250,000		250,000
通信運搬費			414,000		414,000
建物減価償却費			371,000		371,000
什器備品減価償却費			41,000		41,000
消耗品費			200,000		200,000
修繕費			242,000		242,000
印刷製本費			740,000		740,000
光熱水料費			282,000		282,000
貸借料			701,000		701,000
租税公課			275,000		275,000
支払手数料			200,000		200,000
管理諸費			567,000		567,000
委託費			12,000		12,000
広告宣伝費			360,000		360,000
雑費			640,000		640,000
経常費用計	37,596,440	11,888,900	9,225,500		58,710,840
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,377,440	△ 4,733,900	2,714,500		△ 5,396,840
基本財産評価損益等	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0		0
評価損益計	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 3,377,440	△ 4,733,900	2,714,500		△ 5,396,840
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額	△ 2,019,400	4,733,900	△ 2,714,500		0
当期一般正味財産増減額	△ 5,396,840	0	0		△ 5,396,840
一般正味財産期首残高	48,472,559	0	0		48,472,559
一般正味財産期末残高	43,075,719	0	0		43,075,719
II 指定正味財産増減の部					
一般指定財産への振替額	△ 30,000	0	0		△ 30,000
当期指定正味財産増減額	△ 30,000	0	0		△ 30,000
指定正味財産期首残高	250,000	0	0		250,000
指定正味財産期末残高	220,000	0	0		220,000
III 正味財産期末残高	43,295,719	0	0		43,295,719



研修旅行 11月18日～22日 バリ島芸術文化交流の旅

平成 26 年度の海外研修旅行は、11月18日から22日までの5日間にわたりインドネシアのバリ島を訪ねる「バリ島芸術文化交流の旅」に決まった。

常夏のバリ島は、インド洋に沈む夕陽や自然が美しい安全なリゾート地として人気である。

また、バリ芸術の中心地ウブド周辺には、バリ絵画をはじめ、木彫り、石彫り、銀細工などの工房やギャラリーが点在、芸術文化に富み、有名なケチャック・レゴンなどの民族舞踊や幻想的なガムラン音楽も盛んである。

今回の研修旅行では、バリ州政府所管アート協会との交流やウブドの工房訪問、レゴンダンスやガムラン音楽の体験・鑑賞などが予定されており、観光ツアーでは味わえない芸術ならではの充実した楽しい旅となる。

日程や参加費用などはパンフレットのとおりであります。部門をこえた会員の絶好の交流の場でもあるので、奮ってご参加を。

参加の申込みは、10月10日（金）まで芸術協会事務局（電話 022-261-7055、FAX 022-214-5184）へ。

文学散歩 新潟地方の文学と替女唄

9/30～10/1

第51回宮城県芸術祭文学散歩は、「新潟地方の文学と替女唄」をテーマに、9月30日（火）、10月1日（水）の両日、新潟市、長岡市、上越市を巡ることになった。

新潟市では、寄居浜の砂丘上に建つ北原白秋の童謡「砂山」の記念碑や「ふるさとを語る」となし」と刻まれた作家・坂口安吾の碑を訪ね、「安吾風の館」

も見学する。その後、長岡に移動し、司馬遼太郎の小説で知られる長岡藩家老・河井継之助の記念館を訪れ、蓬平温泉「福引屋」に宿泊。

翌日は上越市で盲目の替女唄に耳を澄まし、上越高田の雁木通りを散策した後、「赤い蠟燭と人魚」で知られる童話作家・小川未明の文学館を訪れる。

▽期日 9月30日・10月1日



寄居浜の砂丘に建つ坂口安吾の碑

- ▽募集人員 40名
- 会員以外でも参加できます。
- ▽参加費 2万4千円
- ▽申込み 9月16日（火）まで
- 芸術協会事務局（電話 022-261-7055、FAX 022-214-5184）へ。

高橋孤舟参事を偲んで

参事 田村政晴



今年5月13日、宮城県芸術協会50周年記念祝賀会

に、孤舟先生は欠席されました。当日、先生は創立から協会に参加された功績により、感謝状を贈呈されることになっておりました。

体調を崩され、入院されていた病院に感謝状をお渡しにお伺いしました。個室で眠っており

ましたが、しばらくすると目を覚まされたので「早く元気になつて、また飲みましょー！」「大丈夫だ」と話を交わしたのが、お別れの言葉になってしまいました。

先生とはよく一緒に飲みました。1月の宮城県芸術協会書道部運営委員会で、孤舟先生は先生が主宰する創清会の新年会を済ませてから出席されました。その会議の後で先生と一緒に飲んだのが、最後となりました。ご家族のお話では3月に体調を崩され、入院されたとのこと。そのような中、8月には「中国に行く」と話をしていた

そうです。先生は度々中国を訪れました。私もそのお話を聞くのが好きでした。

私事ですが、私の本名の正晴という名前は、父桃溪が岩沼小学校に奉職していた時、教え子の孤舟先生の仲間が命名してくれたそうです。それから70年の長きにわたり、ご指導を受けました。感謝の念でいっぱいです。

先生は若くして書の道を志され、中央では国井誠海先生が主宰する誠墨会に所属し、毎日書道展を舞台にご活躍されました。地方においては宮城県芸術祭書道展、河北書道展においてのご活躍、宮城県教育文化功労賞、国の地域文化功労賞等ははじめ多くのご受賞は、会員の皆様

がご承知のとおりであります。今思いたすこと。先生と韓国の大邱にご一緒したこと、先生と芸術祭で音楽部の方々のコラボレーションで演奏をバックに席書したこと等々。お別れして2週間が経ちました。身に沁みる寂しさに襲われています。心からご冥福をお祈り申し上げます。 合掌。

事務局日誌

会務報告

4・21 監事会

○平成 25 年度業務会計監査

4・25 理事会

○平成 25 年度事業報告及び収支決算(案)の承認について

○平成 26 年度定時総会の開催について

○新入会員(正会員)の承認について

5・31 平成 26 年度定時総会

○平成 25 年度事業報告及び決算(案)について

○理事の選任について

5・31 理事会

○理事長及び執行理事の選定について

○名誉会員の推薦について

○参事の推薦について

6・16 第 51 回宮城県芸術祭委員会

○第 51 回宮城県芸術祭について

○ピアノコンクールについて

7・4 第 51 回宮城県芸術祭実行委員会

○第 51 回宮城県芸術祭について

後援

☆第 66 回三軌展東北展

6 月 13 日～18 日

せんだいメディアアテーク

☆第 41 回仙台女流美術協会徳島絆グループ展

6 月 13 日～18 日

せんだいメディアアテーク

☆第 102 回日本水彩仙台展・同時開催・第 50 回記念宮城水彩展

6 月 20 日～25 日

せんだいメディアアテーク

☆チルコロ・マンドリニステイコ・フローラ第 28 回ソロとアンサンブルの集い

6 月 21 日

宮城野区文化センター

☆チャリティー書道小品展

6 月 27 日～29 日

蔵しっくパーク

☆第 50 回宮城水彩展栗原展

6 月 27 日～7 月 5 日

栗原文化会館

7 月 25 日～30 日

せんだいメディアアテーク

☆玄穹社展併催第 6 回玄穹社学生展

8 月 1 日～4 日

せんだいメディアアテーク

☆第 2 回リアン協会絵画展

8 月 1 日～6 日

せんだいメディアアテーク

☆第 59 回筆祭り全国書道展

8 月 8 日～13 日

せんだいメディアアテーク

☆第 61 回河北書道展

8 月 14 日～18 日

藤崎本館 7 階催事場

☆第 22 回宮城独立美術展

8 月 22 日～27 日

せんだいメディアアテーク

☆第 28 回日洋展仙台会場・2014

日洋会東北支部展

8 月 29 日～9 月 3 日

せんだいメディアアテーク

☆石友会展「篆刻・刻字の世界」

8 月 29 日～9 月 3 日

せんだいメディアアテーク

☆第 53 回新洋会展

9 月 5 日～10 日

せんだいメディアアテーク

☆2014 仙台オペラ協会第 39 回公演「後宮からの逃走」

9 月 14 日・15 日

東京エレクトロンホール宮城

☆第 23 回河北工芸展

9 月 19 日～23 日

せんだいメディアアテーク

☆奥州戦国悲譚 花山寺

東京公演 9 月 26 日・27 日

日本橋公会堂

宮城公演 10 月 7 日

日立システムズホール仙台

☆第 17 回クレーンバレエアトリエ発表会

7 月 20 日

日立システムズホール宮城

◇第 77 回河北美術展

(日本画)▽一力次郎賞 宮澤早苗

▽東北放送賞 梅森さえ子

▽宮城県芸術協会賞 庄子幸一

▽東北電力賞 三浦長悦

(洋画)▽文部科学大臣賞 松宮典典

▽青森県知事賞 安田早苗

▽秋田県知事賞 林しづ子

▽一力次郎賞 小野由貴子

▽藤崎賞 照井高司

▽東北電力賞 佐治紅美

◇第 49 回日春展

(日本画)▽奨励賞 天笠慶子

▽入選 七宮牧子

◇第 69 回春の院展入選

(日本画)毛利洋子

◇第 28 回日本煎茶工芸展

(木竹芸) 京都府知事賞 川嶋高

▽京都新聞社賞 渡邊榮

◇第 48 回蛇笏賞

(俳句) 高野ムツオ

受贈書 () は寄贈者

「すずかけ第 48 集」(すずかけ短歌会)

「歌集光の穂先」(大衡美智子)

「佐藤志つる歌集山畑のうた」(佐藤志つる)

「アンソロジー風 XI 2014」(牛島富美子)

「新現代俳句最前線」(石母田星人)

「IMAJINE 作品集」(嵯峨大拙)

文芸部 (短歌) 佐藤英子殿

1 月 8 日

工芸部 (木竹芸) 渡辺竹導殿

3 月 2 日

書道部 澤田如雪殿

4 月 1 日

書道部 高橋孤舟殿

6 月 21 日

けやきの譜

宮城県芸術協会の平成 26 年度定時総会が 5 月 31 日開かれ、終了後の理事会で第 10 代理事長に

大場尚文氏(絵画部)が選出された。絵画部からは 3 期連続だが、公益社団法人としては実質的に初めての理事長だけに手腕

發揮に期待がかかる▼6 月中旬からは、サッカーの W 杯に熱狂した 1 カ月だった。日本代表の

サムライブルーは世界の厚い壁の前に 1 勝もできず、予選リーグで敗退。冷静な分析を欠いた

まま 16 強だ、8 強だと煽り立てたマスコミには強い反省が望ま

れよう。決勝でアルゼンチンを下したドイツが 4 回目の優勝を

遂げた▼それはそれとして、夏が過ぎれば芸術の秋。第 51 回宮

城県芸術祭が催される。9 月 26 日のスタートから 11 月 27 日まで

の長丁場。この間、「芸術ふれあい広場パート IV」をはじめ、

絵画展、写真展、東京エレクトロンホール宮城での音楽を中心

とする舞台公演など、多彩な催しが予定されている。芸術文化

活動の魅力を PR すべく、全力投球が望まれる。

(恂)